

# 令和5年度 定例会 会派 代表質疑 (抜粋) 令和5年9月

## 1. 児童館における安全対策と児童や保護者の心のケア支援

【佐藤幸雄議員】市内児童館における盗撮事案の発生についてありますが、本事案は、断じて許されない行為である。

児童館に通う児童生徒の心のケアや保護者への信頼回復をどのように進めるのか。具体的に対策を伺う。

【こども若者局長】児童の心のケアについては、当該児童館において、9月11日より新たにスタッフを配置して、児童、保護者からの相談に対応する体制を整えるとともに、**小学校のスクールカウンセラーとも連携してケア**にあっている。

保護者の皆様の信頼回復に向けては、**再発防止**に係る取り組みが現場の職員一人ひとりに浸透するように、本市職員が直接、**当該児童館に赴き研修**を行っている。

また現在、本市から団体に対し、管理体制の見直しや再発防止策の徹底を指示して、**改善計画書の提出**を求めている。保護者の皆様の安心につながる改善の取り組みが確実に履行されるよう、管理・監督を行っていく。

こうした取り組みを、団体とともに着実に実行していくことを通して、保護者の皆様の信頼回復に努めてまいりたい。



令和5年度 第3回定例会  
会派 代表質疑 9月19日

## 2. 子育てが楽しい街・仙台の推進について

【佐藤幸雄議員】本市では、一般社団法人仙台子ども財団を設立する予定であるが、設立目的である「**子育てが楽しいまち・仙台**」の実現をどのように推進していくのか伺う。

【市長】財団の設立に向けて、子ども・子育て支援に関わる団体をはじめ、現場の方々の声を伺ってきた。その中で、子育て家庭同士のつながりの希薄化や、それぞれの**家庭が抱える課題の複雑化・多様化**について多くの意見をいただいた。

財団設立後は、地域の中で活動されている支援団体の想いや、その活動内容をしっかりと把握しながら、**多様化するニーズに的確に対応した支援**を展開することにより、子ども子育て家庭の**繋がりを豊か**にしていきたい。

一般社団法人仙台子ども財団とは、仙台市が子育て支援を目的に設立する外郭団体。

\* 中面につづく

# S A T O Y U K I O 佐藤 ゆきお

泉区 市議会通信 合併号 VOL. 32・33

2023年10月発行 仙台市議会議員 佐藤 幸雄  
発行元/仙台市議会公明党市議団 TEL 022-272-4863  
仙台市泉区南光台1-56-15-1 E-mail yukio@sendai-komei.jp

### 日々の地域実績



整備後

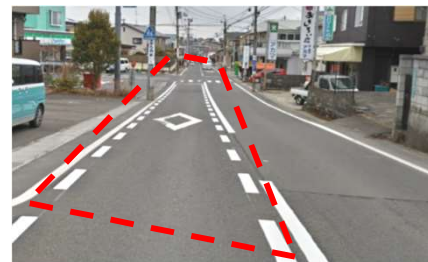


階段改修 安全対策

南光台一丁目南公園付近

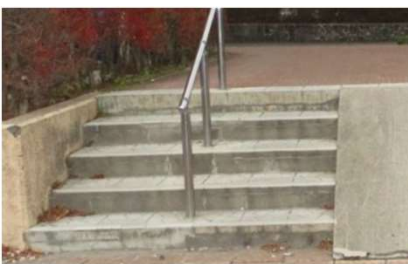


整備後



減速ドットライン 安全対策

南光台一丁目停留所付近



整備後



スロープ新設 バリアフリー対策

八乙女駅東口付近

### 3. 地域交通の役割分担でバス事業の赤字解消を提案

【佐藤幸雄議員】私が令和3年度に、地域交通に転換することでバス事業の赤字解消策を提案した質疑に対し、「利用者が極めて少ないエリアにおいて、路線バスから地域交通への転換を図ることにより、**市バス事業の経費削減につながる**」との答弁であった。現在、乗車人員がコロナ禍前の1割減の状態であるならば、更にスピードを上げて推進すべきと考えますが、所見を伺う。

【交通事業管理者】現在、地域交通は都市整備局が中心となり、市内10地区において、意見交換会から実際の運行まで、段階を踏みながら様々取り組みが進められている。

交通局としても、地域の意見交換会等に参加して様々な意見を頂戴している。

それぞれの**地域の実情に合った**より良い移動手段を確保するためには、十分な合意形成を図りながら丁寧に進めることが必要と認識している。

今後とも、地域交通の推進にあたり、都市整備局とは、バスの利用状況のほか、地域の皆様の意見や地元協議の進捗状況等について**定期的に情報共有を行うなど、密接に連携を図りながら取り組んでまいります。**



地域での話し合いのイメージ(仙台市HPより)

### 4. 就職氷河期世代の非正規雇用から正社雇用への支援について

【佐藤幸雄議員】私は昨年(令和4年)の第2回定例会(一般質問)にて、**就職氷河期世代のニーズ**に合った支援を推進するには、**実態調査を行い**、その声に応えるべきと強く求めた。現在の状況を伺う。

【経済局長】就職氷河期世代の方々の中には、**非正規雇用にあつて正規雇用を希望される方**、希望しながらも職に就けない方、あるいは長期間職に就けなかったことなどにより、職を探す意欲を失った方など、**実情は様々**である。

こうした状況を踏まえまして、本市においては、非正規から正規への雇用を望まれる方々には、個別相談等を実施してきたほか、**今年度からは、SNS等を活用した情報発信を強化した。**

また、職に就いていない方々には、生活困窮者自立支援による就労支援や就労準備支援を通じ、社会参加や就労の機会を提供するとともに、支援員による丁寧なサポートにも取り組んでいる。引き続き、国や県等と連携を図りながら、より効果的な支援施策を検討し、**一人一人の希望の実現につなげてまいります。**

**就職氷河期世代**とは、概ね平成5年から平成16年の雇用環境が厳しい時期に学校卒業期を迎えた世代で、原則として、令和5年4月1日時点において大卒であれば41歳から52歳(昭和45年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた人)、高卒であれば37歳から48歳(昭和49年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人)までの方。

## 日々の活動



復興創生会議(公明党宮城県本部)  
3月12日



会派視察 介護予防ポイント事業について  
大阪市 3月23日



会派視察 ヒヤリングフレイル事業について  
豊島区 3月24日



物価高騰対策・会派緊急要望  
仙台市役所 3月29日



南光台1丁目町内会 要望書提出  
泉区役所 5月1日



全国都市緑化祭  
仙台国際センター 5月24日



第2回定例会 委員長報告(市民教育委員会)  
6月9日

#### <プロフィール>

仙台市生まれ  
仙台市立国見小学校卒業  
仙台市立第一中学校卒業  
仙台市立仙台商業高等学校卒業(硬式野球部OB)  
創価大学経済学部経済学科(通信教育部)卒業

ぎます  
市政に  
つな  
つな  
なを



HP QRコード

